

政策 04 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり

施策 03 健康づくりの推進

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の
環境変化と
課題

・がん、心臓病、脳卒中は、市における死因の51.0%（令和4年度）を占めています。その原因となる可能性が高い生活習慣病の発症予防や重症化予防対策を強化していきます。

・市内の自殺率は24.44（令和5年度）で、引き続き、関係部署と連携し、個別支援に取り組んでいきます。

・妊産婦や乳幼児の健康の保持・増進のため、健診や相談支援の充実にと切れ目ない支援に取り組んでいきます。

・子どものむし歯保有者率は、年々減少傾向ですが、県平均より高い状況にあるため、対策の充実を図ります。

・予防接種法に基づき、感染症のまん延防止や重症化予防を図ります。

・医療・保健・介護を健診から在宅まで三位一体で切れ目なく地域住民に提供し、安心して暮らすことができる環境の整備を実施します。

・国民健康保険及び後期高齢者医療制度の一人当たり総医療費が増加しています。急激な医療費増加を抑えるため、特定健康診査等受診率の向上及び生活習慣病の発症予防や重症化予防に対する対策に取り組めます。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R04実績	R05実績	対 基準値	対 前年度	掲載
人口千人当たりの15歳から64歳までの病気等での死亡率(ケガ、事故を除く)()	成果		2.41	☂ (低下)	---	
生活習慣病死亡率(%)	成果		51	☀ (向上)	---	

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R04実績	R05実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	1人当たりの健康づくり取組項目数(全12項目中)(項目)	成果		3.6	☂ (低下)	---	
01	人口10万人当たり自殺率()	成果		24.44	☂ (低下)	---	
02	特定健康診査受診率(%)	成果		42.1	☀ (向上)	---	
02	後期高齢者健康診査受診率(%)	成果		28	☀ (向上)	---	
02	がん検診を年1回受けている市民の割合(%)	成果		40.5	☂ (低下)	---	
02	メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合(%)	成果		32.4	☀ (横ばい)	---	
03	乳幼児健診の受診率(%)	成果		92	☂ (低下)	---	
03	乳児面接実施率(%)	成果		99.4	☂ (低下)	---	
04	幼児(3歳)のむし歯保有者率(%)	成果		10.6	☀ (向上)	---	
04	小学生のむし歯保有者率(%)	成果		41.6	☀ (横ばい)	---	
05	麻疹・風しん混合(MR)予防接種率(%)	成果		91.5	☂ (低下)	---	
05	新型コロナウイルスワクチン接種率(%)	成果		0.4	☂ (低下)	---	
06	かかりつけ医を持っている市民割合(%)	成果		64.9	☁ (横ばい)	---	
06	休日、夜間の救急医療をどこで受診できるかを自らで調べられる市民割合(%)	成果		63.5	☁ (横ばい)	---	
07	1人当たりの国民健康保険総医療費(円)	社会		378,784	☁ (横ばい)	---	
07	1人当たりの後期高齢者医療制度総医療費(円)	社会		788,869	☁ (横ばい)	---	
07	特定疾病療養受療証新規交付数(人)	成果		10	☀ (向上)	---	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 04 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり

施策 03 健康づくりの推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民	・ 健康への意識が高まることにより、生活習慣病が減少し、健康な心身で生活を送り続けられます。

施策の成果状況と評価

指標	人口千人当たりの15歳から64歳までの病気等での死亡率(ケガ、事故を除く)	単位	基準値	実績値(R04)	実績値(R05)	めざそう値(R08)	対基準値
	【健康支援課】		2.06		2.41	1.97	☂ (低下)
評価	<p>< 状況 > 人口千人当たりの15歳から64歳までの病気等での死亡率(ケガ、事故を除く)は2.41で、基準値と比較して0.35ポイント増加しました。</p> <p>< 原因 > 死因のうち、「神経系疾患(その他)」の死亡者数が増加したことが要因です。</p>						対前年度

							達成状況
							■ (低)

指標	生活習慣病死亡率	単位	基準値	実績値(R04)	実績値(R05)	めざそう値(R08)	対基準値
	【健康支援課】	%	55.5		51	55.5	☀ (向上)
評価	<p>< 状況 > 生活習慣病死亡率は51.0%で、基準値と比較して4.5ポイント減少し、めざそう値を達成しました。</p> <p>< 原因 > がんによる死亡率が減少しており、コロナ禍で受診者が減少していたがん検診の受診者が増加したことが要因であると考えられます。</p>						対前年度

							達成状況
							🏰 (達成)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

基本事業の成果状況と評価

基本事業	01	心身の健康管理の充実
基本事業	02	健診の受診率向上と生活習慣の改善
基本事業	03	母子の健康管理
基本事業	04	子どものむし歯対策の推進
基本事業	05	感染症等対策の推進
基本事業	06	医療体制の充実
基本事業	07	健康保険制度の安定的な運営

基本事業01 心身の健康管理の充実

指標	1人当たりの健康づくり取組項目数(全12項目中)	単位	基準値	実績値(R04)	実績値(R05)	めざそう値(R08)	対基準値
	【健康支援課】	項目	3.92		3.6	4	☂ (低下)
評価	<p><状況> 令和5年度の1人当たりの健康づくり取組項目数は3.60項目で、基準値と比較して0.32項目減少しました。</p> <p><原因> 30・40歳代の1人当たりの健康づくり取組項目数の減少率が高く、育児や仕事が忙しく健康に対する関心が低いことが要因と考えられます。</p>						対前年度 ---
							達成状況 ■■■ (低)

基本事業01 心身の健康管理の充実

指標	人口10万人当たり自殺率	単位	基準値	実績値(R04)	実績値(R05)	めざそう値(R08)	対基準値
	【健康支援課】		19.87		24.44	19.54	☂ (低下)
評価	<p><状況> 人口10万人当たり自殺率は24.44で、基準値より4.57ポイント増加しました。</p> <p><原因> 自殺原因は、例年健康問題が多いですが、物価高騰などによる経済・生活問題が増えたことが原因と考えられます。</p>						対前年度 ---
							達成状況 ■■■ (低)

基本事業02 健診の受診率向上と生活習慣の改善

指標	特定健康診査受診率	単位	基準値	実績値(R04)	実績値(R05)	めざそう値(R08)	対基準値
	【国保年金課】	%	35.6		42.1	44.5	☀ (向上)
評価	<p><状況> 令和5年度の特定健康診査受診率は42.1%で、基準値より6.5ポイント増加しました。</p> <p><原因> 健診未受診者に、過去の健診受診歴や医療機関受診状況等を分析し、それぞれの特性に合わせた葉書による受診勧奨を実施したことや、集団健診を受診できなかった被保険者を対象に追加で健診を実施した結果、受診率が向上した要因と考えられます。</p>						対前年度 ---
							達成状況 ■■■ (中)

基本事業02 健診の受診率向上と生活習慣の改善

指標	後期高齢者健康診査受診率	単位	基準値	実績値(R04)	実績値(R05)	めざそう値(R08)	対基準値
	【国保年金課】	%	21.4		28	28.5	☀ (向上)
評価	<p><状況> 令和5年度の後期高齢者健康診査受診率は28.0%で、基準値より6.6ポイント増加しました。</p> <p><原因> 広報紙やホームページ等による受診勧奨と予約制の集団、個別健診を実施した結果、受診者が増加し受診率が向上した要因と考えられます。</p>						対前年度 ---
							達成状況 ■■■ (高)

基本事業の成果状況と評価

基本事業02 健診の受診率向上と生活習慣の改善

指標	がん検診を年1回受けている市民の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【健康支援課】	%	41.1		40.5	50.3	☂ (低下)
評価	<p>< 状況 > 令和5年度のがん検診を年1回受けている市民の割合は40.5%で、基準値と比較して0.6ポイント減少しました。</p> <p>< 原因 > 前年度受診者に案内通知を行わなかったことが減少した要因となっていると考えられます。</p>						(低下) 対前年度 --- 達成状況 ■■■ (低)

基本事業02 健診の受診率向上と生活習慣の改善

指標	メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【健康支援課】	%	33.6		32.4	29.9	☀ (横ばい)
評価	<p>< 状況 > メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合は、32.4%で、基準値と比較して1.2ポイント減少しました。</p> <p>< 原因 > コロナ禍により外食が減り、自炊する人が増えたことが要因と考えられます。</p>						(横ばい) 対前年度 --- 達成状況 ■■■ (低)

基本事業03 母子の健康管理

指標	乳幼児健診の受診率	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【健康支援課】	%	94.9		92	95	☂ (低下)
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の乳幼児健診の受診率は92.0%で、基準値と比較して2.9ポイント減少しました。</p> <p>< 原因 > 未受診者の内訳では、外国籍の方の割合が高く、外国籍の方の増加に伴い、受診率も低下したことが要因であると考えます。</p>						(低下) 対前年度 --- 達成状況 ■■■ (低)

基本事業03 母子の健康管理

指標	乳児面接実施率	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【健康支援課】	%	100		99.4	100	☂ (低下)
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の乳児面接実施率は99.4%で、基準値と比較して0.6ポイント減少しました。</p> <p>< 原因 > 乳児全戸訪問事業として、5か月未満の乳児がいる家庭に訪問し面接していますが、出生時から居所が外国にある乳児が1名あり、面接できていないことが原因です。</p>						(低下) 対前年度 --- 達成状況 ■■■ (低)

基本事業の成果状況と評価

基本事業04 子どものむし歯対策の推進

指標	幼児（３歳）のむし歯保有者率	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【健康支援課】	%	16.5		10.6	14	☀ (向上)
評価	<p>< 状況 > 令和５年度の幼児（３歳）のむし歯保有者率は10.6%で、基準値と比較して5.9ポイント減少し、めざそう値を達成しました。</p> <p>< 原因 > 幼児の出生時から継続的に歯科健診やむし歯予防の啓発、個々への相談・指導を行っていることが、むし歯保有者率減少の原因と考えます。</p>						(対 前年度 --- 達成 状況 ☀ (達成)

基本事業04 子どものむし歯対策の推進

指標	小学生のむし歯保有者率	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【健康支援課】	%	41.8		41.6	38	☀ (横ばい)
評価	<p>< 状況 > 令和５年度の小学生のむし歯保有者率は41.6%で、基準値と比較して0.2ポイント減少しました。</p> <p>< 原因 > 歯科健診やむし歯予防の啓発、個々への相談・指導を、継続的にを行っていることが、むし歯保有率減少の原因と考えます。</p>						(対 前年度 --- 達成 状況 ☀ (低)

基本事業05 感染症等対策の推進

指標	麻しん・風しん混合（MR）予防接種率	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【健康支援課】	%	93		91.5	95	☔ (低下)
評価	<p>< 状況 > 令和５年度の麻しん・風しん混合（MR）予防接種率は91.5%で、基準値と比較して1.5ポイント減少しました。</p> <p>< 原因 > 麻しんの流行によりワクチンの任意接種希望者が増加し、ワクチン供給量に不足が生じたことで、接種率が減少した要因であると考えます。</p>						(対 前年度 --- 達成 状況 ☔ (低)

基本事業05 感染症等対策の推進

指標	新型コロナウイルスワクチン接種率	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【健康支援課】	%	88.3		0.4	-	☔ (低下)
評価	<p>< 状況 > 令和５年度の新型コロナウイルスワクチン（初回）接種率は0.4%で、基準値より87.9ポイント減少しました。</p> <p>< 原因 > 新型コロナウイルスワクチン初回対象者数は令和３・４年度に接種した者を除き3,499名で、そのうち接種者数は13名でした。初回接種対象者には接種開始時からの未希望者や予防接種不適当者（アナフィラキシー既往あり等）がいると想定されるため、大幅に減少したと考えられます。</p>						(対 前年度 --- 達成 状況 ☔ (低)

基本事業の成果状況と評価

基本事業06 医療体制の充実

指標	かかりつけ医を持っている市民割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【健康支援課】	%	65.8		64.9	67.5	☁ (横ばい)
評価	<p>< 状況 > 令和5年度のかかりつけ医を持っている市民割合は64.9%で、基準値と比較して、0.9ポイント減少しました。</p> <p>< 原因 > 「かかりつけ医」に対する認識について、市が考える認識と、多少異なっている市民が一定数いることが要因であると考えます。</p>	<p>(%)</p>					☁ (横ばい)
							対前年度

							達成状況 ■ (低)

基本事業06 医療体制の充実

指標	休日、夜間の救急医療をどこで受診できるかを自らで調べられる市民割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【健康支援課】	%	65.8		63.5	67.8	☁ (横ばい)
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の休日、夜間の救急医療をどこで受診できるかを自らで調べられる市民割合は、63.5%で、基準値と比較して2.3ポイント減少しました。</p> <p>< 原因 > 市民への周知や広報啓発が若干不足していることが要因と考えられます。</p>	<p>(%)</p>					☁ (横ばい)
							対前年度

							達成状況 ■ (低)

基本事業07 健康保険制度の安定的な運営

指標	1人当たりの国民健康保険総医療費	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【国保年金課】	円	358,610		378,784	415,727	☁ (横ばい)
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の1人当たりの国民健康保険総医療費は378,784円で、基準値より20,174円増加しましたが、めざそう値は達成しました。</p> <p>< 原因 > 被保険者の高齢化や医療技術の高度化による医療費の増加が原因と考えられます。</p>	<p>(円)</p>					☁ (横ばい)
							対前年度

							達成状況 🏰 (達成)

基本事業07 健康保険制度の安定的な運営

指標	1人当たりの後期高齢者医療制度総医療費	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【国保年金課】	円	752,399		788,869	830,709	☁ (横ばい)
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の1人当たりの後期高齢者医療制度総医療費は788,869円で、基準値より36,470円増加しましたが、めざそう値は達成しました。</p> <p>< 原因 > 医療技術の高度化による医療費の増加が原因と考えられます。</p>	<p>(円)</p>					☁ (横ばい)
							対前年度

							達成状況 🏰 (達成)

基本事業07 健康保険制度の安定的な運営

指標	特定疾病療養受療証新規交付数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【国保年金課】	人	11		10	11	
評価	<p>< 状況 > 令和 5 年度の特定疾病療養受領証の新規交付数は10件で、基準値より1件減少し、めざそう値を達成しました。</p> <p>< 原因 > 特定保健指導や糖尿病の発症予防に関する周知を実施したことで、被保険者の疾病及び重症化予防の意識が向上した要因と考えられます。</p>	(人)					(向上)
							対 前年度

							達成 状況 (達成)

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の 環境変化と 課題

- ・共働きやひとり親家庭の増加等、家庭の状況が変化し、3歳未満児の保育や、長時間保育の需要が高まっています。
- ・子育て支援センターで、育児等の相談を受け、子育ての不安を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援します。
- ・妊娠期から子育て期まで、切れ目のない支援の充実に取り組んでいます。
- ・子育てにおける経済的負担の軽減はニーズが高く、市では、引き続き高校生までの医療費を助成し、保護者の経済的な負担軽減を図ります。
- ・学童クラブにおける利用ニーズの多様化に対応できる支援員の人材育成が課題となります。また、学童クラブと放課後子ども教室との総合的な放課後対策が課題となります。
- ・結婚を希望する人を応援し、子ども・子育てにやさしい地域社会づくりに取り組み、若い世代が将来にわたる展望を描ける環境づくりを推進していきます。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R04実績	R05実績	対 基準値	対 前年度	掲載
子育てが幸せ、楽しいと思う就学前児の保護者の割合（％）	成果		89.2	☁ (横ばい)	---	
この地域で子育てをしたいと感じる就学前児の保護者の割合（％）	成果		89	☁ (横ばい)	---	

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R04実績	R05実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	幼稚園 保育所 ・こども園の利用定員充足率（％）	成果		77.7	☁ (横ばい)	---	
01	就学前保育 教育に関する保護者の満足度（％）	成果		96.3	☁ (横ばい)	---	
01	一時保育 特別保育ニーズに対応できなかった件数（件）	成果		14	☂ (低下)	---	
02	学童クラブの待機児童数（人）	成果		6	☂ (低下)	---	
03	育てにくさを感じた時に対処できる(方法を知っている)保護者の割合（％）	成果		90	☀ (向上)	---	
03	子どもの社会性の発達過程を知っている保護者の割合（％）	成果		90.2	☀ (向上)	---	
03	各種子育て相談延べ件数（件）	代替		6,784	☀ (向上)	---	
04	子育ての経済的負担軽減受給額（子育て1世帯あたり）（円）	代替		279,742	☀ (横ばい)	---	
04	ひとり親家庭の自立率（％）	成果		12.6	☀ (横ばい)	---	
05	児童虐待通告件数（件）	成果		77	☀ (横ばい)	---	
05	児童に関する措置件数（件）	成果		1	☀ (横ばい)	---	
06	出生者数(計画期間累計)(人)	成果		160	☁ (横ばい)	---	
06	結婚する意欲のある独身者の割合（％）	成果		80.7	☀ (向上)	---	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

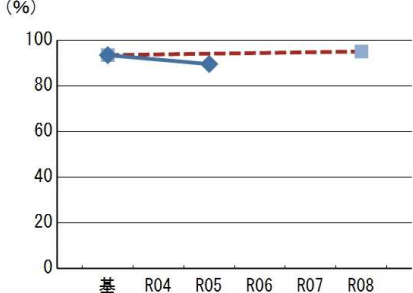
政策 04 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり

施策 04 子育ての支援

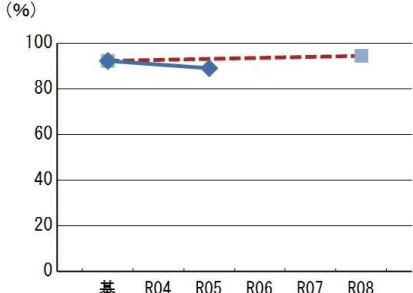
施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童（0～18歳未満） ・ 子育て家庭 	子育て環境が整っており、安心して産む・育てることができます。

施策の成果状況と評価

指標	子育てが幸せ、楽しいと思う就学前児の保護者の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【子育て支援課】	%	93.4		89.2	95	☁ (横ばい)
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の子育てが幸せ、楽しいと思う就学前児の保護者の割合は89.2%で、基準値と比較して4.2ポイント減少しました。</p> <p>< 原因 > 子育てしやすい環境整備等の子育て支援の充実を望んでいることが原因と考えられます。</p>		<p>(%)</p> 				対前年度

							達成状況
							■■■ (低)

指標	この地域で子育てをしたいと感じる就学前児の保護者の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【子育て支援課】	%	92.2		89	94.4	☁ (横ばい)
評価	<p>< 状況 > 令和5年度のこの地域で子育てをしたいと感じる就学前児の保護者の割合は89.0%で、基準値と比較して3.2ポイント減少しました。</p> <p>< 原因 > 子育て世代への経済的支援や子育てしやすい環境整備等の子育て支援の充実を望んでいることが原因と考えられます。</p>		<p>(%)</p> 				対前年度

							達成状況
							■■■ (低)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

基本事業の成果状況と評価

基本事業	01	幼保機能の充実
基本事業	02	学童保育の充実
基本事業	03	子育て不安の軽減
基本事業	04	子育て家庭への援助
基本事業	05	こどもの人権の尊重
基本事業	06	次世代育成に係る家族形成の支援

基本事業01 幼保機能の充実

指標	幼稚園・保育所・こども園の利用定員充足率	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【子育て支援課】	%	82.9		77.7	80	(横ばい)
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の幼稚園・保育所・こども園の利用定員充足率は77.7%で、基準値と比較して5.2ポイント減少しました。</p> <p>< 原因 > 地域の少子化に伴い、入園を希望する幼児が減少していることが原因と考えられます。</p>						対前年度
							--- 達成状況 (低)

基本事業01 幼保機能の充実

指標	就学前保育・教育に関する保護者の満足度	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【子育て支援課】	%	96.9		96.3	98	(横ばい)
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の就学前保育・教育に関する保護者の満足度は96.3%で、基準値と比較して0.6ポイント減少しました。</p> <p>< 原因 > 園行事等を縮小したことや、保護者からの十分な要望、意見等を反映できなかったことが原因と考えられます。</p>						対前年度
							--- 達成状況 (低)

基本事業01 幼保機能の充実

指標	一時保育・特別保育ニーズに対応できなかった件数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【子育て支援課】	件	-		14	0	(低下)
評価	<p>< 状況 > 令和5年度のこども園における一時保育・特別保育ニーズに対応できなかった件数は14件でした。</p> <p>< 原因 > 一時保育利用者の多くが3歳未満児であり、通常保育のほかに各園の行事や保育士不足により、対応できなかったことが原因と考えられます。</p>						対前年度
							--- 達成状況 (低)

基本事業02 学童保育の充実

指標	学童クラブの待機児童数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【子ども教育課】	人	0		6	0	(低下)
評価	<p>< 状況 > 4月当初の待機児童数は6人で、基準値と比較して6人増加しました。</p> <p>< 原因 > 大平学童クラブで、施設基準等から定員数を超過して受け入れを行うことが難しいため、待機児童が発生したことが原因です。</p>						対前年度
							--- 達成状況 (低)

基本事業の成果状況と評価

基本事業03 子育て不安の軽減

指標	育てにくさを感じた時に対処できる(方法を知っている)保護者の割合 【子育て支援課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対 基準値
		%	86.3		90	91	☀ (向上)
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の育てにくさを感じた時に対処できる保護者の割合は90.0%で、基準値と比較して3.7ポイント増加しました。</p> <p>< 原因 > 新型コロナウイルス感染症の類型移行により利用制限が緩和され、保護者が保育施設を利用するなど、子育ての不安が少しずつ解消出来たことが要因と考えられます。</p>						(向上)
							対 前年度

							達成 状況 ☀ (達成)

基本事業03 子育て不安の軽減

指標	子どもの社会性の発達過程を知っている保護者の割合 【子育て支援課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対 基準値
		%	87.8		90.2	90.5	☀ (向上)
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の子どもの社会性の発達過程を知っている保護者の割合は90.2%で、基準値と比較して2.4ポイント増加しました。</p> <p>< 原因 > 子育て世代において、子どもの社会性の発達過程への関心が高まり、乳幼児健診受診者の増加、子育て世代包括支援センター「はびねす」利用者が増加したことが原因と考えられます。</p>						(向上)
							対 前年度

							達成 状況 ☀ (高)

基本事業03 子育て不安の軽減

指標	各種子育て相談延べ件数 【子育て支援課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対 基準値
		件	4,762		6,784	4,645	☀ (向上)
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の各種子育て相談延べ件数は6,784件で、基準値と比較して2,022件増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p>< 原因 > 相談延べ件数6,784件の内訳は、家庭児童相談係3,093件、保健センター事業3,650件、子育て支援センター41件でした。本計画期間を通して、各種相談窓口がそれぞれの役割を担い、積極的に事業展開を行ったことが主な要因と考えられます。</p>						(向上)
							対 前年度

							達成 状況 ☀ (達成)

基本事業04 子育て家庭への援助

指標	子育ての経済的負担軽減受給額(子育て1世帯あたり) 【子育て支援課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対 基準値
		円	265,479		279,742	265,479	☀ (横ばい)
評価	<p>< 状況 > 令和5年度の子育ての経済的負担軽減受給額(子育て1世帯あたり)は279,742円で、基準値と比較して14,263円増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p>< 原因 > 医療機関の受診控えの解消や高校生年代への受給券発行等により、医療費助成額が増加したことが要因であると考えます。</p>						(横ばい)
							対 前年度

							達成 状況 ☀ (達成)

基本事業の成果状況と評価

基本事業04 子育て家庭への援助

指標	ひとり親家庭の自立率	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対 基準値														
		【子育て支援課】	%	11.08		12.6	11.08														
評価	<p>< 状況 > 令和 5 年度のひとり親家庭の自立率は12.60%で、基準値と比較して1.52ポイント増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p>< 原因 > 児童扶養手当受給者数が 7 人減少し、本人所得超過により全部支給停止となった方が 5 人増加したことによると思われます。</p>	<p>(%)</p> <table border="1"><caption>自立率の推移</caption><thead><tr><th>項目</th><th>値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>11.08</td></tr><tr><td>R04</td><td></td></tr><tr><td>R05</td><td>12.60</td></tr><tr><td>R06</td><td></td></tr><tr><td>R07</td><td></td></tr><tr><td>R08</td><td>11.08</td></tr></tbody></table>					項目	値 (%)	基準	11.08	R04		R05	12.60	R06		R07		R08	11.08	(横ばい)
		項目	値 (%)																		
		基準	11.08																		
		R04																			
		R05	12.60																		
R06																					
R07																					
R08	11.08																				
	対 前年度																				

	達成 状況																				
	 (達成)																				

基本事業05 こどもの人権の尊重

指標	児童虐待通告件数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対 基準値														
	【子ども教育課】	件	73		77	-															
評価		(件)					(横ばい)														
	<p>< 状況 > 令和5年度の児童虐待通告件数は77件で、基準値と比較して4件増加しました。</p> <p>< 原因 > 児童虐待防止の周知活動や地域関係機関と連携を図り、児童虐待の早期発見・早期対応できる環境づくりに取り組んだことが、児童虐待を潜在化させず通告につながっている要因であると思われます。</p>	<table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>73</td></tr><tr><td>R04</td><td></td></tr><tr><td>R05</td><td>77</td></tr><tr><td>R06</td><td></td></tr><tr><td>R07</td><td></td></tr><tr><td>R08</td><td></td></tr></tbody></table>					項目	値	基準	73	R04		R05	77	R06		R07		R08		対 前年度
		項目	値																		
		基準	73																		
		R04																			
R05	77																				
R06																					
R07																					
R08																					

						達成 状況															
値						---															

基本事業05 こどもの人権の尊重

指標	児童に関する措置件数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対 基準値
		件	0		1	-	
評価	【子ども教育課】	<div>(件)</div> <div>基準 R04 R05 R06 R07 R08</div>					(横ばい)
							対 前年度

							達成 状況

	<p>< 状況 > 令和5年度の児童に関する措置件数は 1 件で、基準値と比較して 1 件増加しました。</p> <p>< 原因 > 生活保護受給者の出産により助産施設への措置が 1 件発生したことが要因です。</p>						

基本事業06 次世代育成に係る家族形成の支援

出生者数(計画期間累計)		単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	めざそう値 (R08)	対 基準値					
指標		人	200			160	800					
	【企画政策課】											
評価	<p>< 状況 > 令和 5 年の出生者数は160人で、基準値より40人減少しました。（計画期間累計160人／期待値800人）</p> <p>< 原因 > 山武市だけではなく、国全体で出生数は減少傾向にあり、昨年の出生者数は72万7,277人で、前年比 5.6%と過去最低を更新しています。日本全体において人口減少社会が進展しているものと考えられます。</p>						(人)					
							(横ばい)					
							対 前年度					

達成 状況												
■■■ (低)												